



## 新宿イーストサイドスクエア

株式会社三菱地所設計

河合康之・塚本敦彦・松尾教徳・松井章一郎・石附 聡・佐藤琢也・姉齒景介・藤 貴彰  
 有限会社ソラ・アソシエイツ 藤田久数・塩井弘一

「新宿イーストサイドスクエア」は、地下鉄東新宿駅に直結する約3.7haの大規模開発プロジェクト「新宿イーストサイド」内に位置するオフィスビルです。計画地を広域的に俯瞰すると、新宿区の「七つの都市の森」に位置付けられている戸山公園と新宿御苑のちょうど中間に位置しており、厚みと広がりのある都市の緑を実現していく上で、計画地は2つの森をつなぎ、補完する重要な役割を担っています。また、計画地の近傍を見渡すと、西側には歌舞伎町を主とした商業・業務市街地が広がり、東側には寺社や緑地等の情

緒的な街並みを残した住宅市街地が広がっており、まさに多種多様な生活文化が交錯した立地といえます。

このように、東新宿の様々な生活文化が取り巻く立地を考慮し、場所性に応じた個性的な広場を連続して配置することによって、計画地周辺の界限性を活かした多様で人間らしい空間を創出することを目指しました。また、こうした広場の総体として、大規模な緑を根付かせることを計画しました。

地元の西向天神へと繋がる「和」の佇まいを有した「郷土のにわ」、隣接街区と並木の樹種、樹形を揃え、



出会いのひろば～広場のもり～錦のひろば全景

作品概要

作品名：新宿イーストサイドスクエア  
 所在地：東京都新宿区新宿六丁目27番30号  
 発注：新宿六丁目特定目的会社  
 設計：三菱地所設計・日本設計設計監理共同企業体  
 設計協力：有限会社ソラ・アソシエイツ  
 監理：三菱地所設計・日本設計設計監理共同企業体  
 施工：鹿島建設株式会社  
 設計期間：2008年4月～2009年9月  
 施工期間：2010年5月～2012年4月  
 規模：敷地面積25,809.68 m<sup>2</sup>  
 主要施設：事務所、店舗

作品評

この作品は、地下鉄東新宿駅に直結する大規模オフィスビルの外構である。しかし、その外構は建物の内と外、地下と地上を境界なく結んでおり、様々な演出が施された個性的な空間が展開されることにより、周辺地域の多種多様な土地利用とも一体化している。

「就業者だけでなく地域にも開かれたオフィス屋外空間の実現」という委託者の要請に対し、建築・ランドスケープ・アート・ライティング等、様々な職能のコラボレートにより、曲線デザインを基調としたボーダーレスで立体的な回遊空間を生み出し、趣の異なる多様な空間を提供することにより、昼夜を問わずに、多様な利用を可能としている。

ディテールにこだわった施設計画はもとより、植栽木の色や形をモチーフとして、施設と調和するように検討された植栽計画は、緑が少ない都会の中で、単に緑量を確保するという点にとどまらず、緑の魅力やその親しみを活かそうとしている点も評価された。

本作品は、ランドスケープ作品としてそのデザイン性が高く評価され、最優秀賞となった。

一対のデザインで構成した「繋がり」のえん」など、種々の趣をもつ広場を立地の特性に合わせて構成することにより、周辺環境とつながりを持ち、地域に根差したランドスケープを実現しています。また、これらの広場を繋ぐプロムナードは建物の内と外、地上と地下を境界なく結び付けており、ボーダーレスで立体的な回遊空間を生み出しています。この曲線的かつ起伏に富んだプロムナードを歩くことによりフレーミングされ

る風景は次々と変化し、印象的なシーケンスを体験させてくれます。

広場とプロムナードが有機的に繋がった計画地は、訪れた方それぞれが好みのルートを散策しながら、自分のお気に入りの居場所を見つけて腰をおろし、心から落ち着いて時を過ごすことができる人間らしいオフィス屋外空間として、就業者や来街者、周辺居住者等、様々な方々に親しまれています。



出会いのひろば



出会いのひろば



出会いの回廊



広場のもり



交わりのみち



舗のひろば



繋がり」のえん



華のさかみち



郷土のにわ